



健康保険などの公的医療保険制度による医療費は「診療報酬」という法令に基づいた金額により算定されます。医療機関は患者を診察した記録（通称カルテ）をもとに、医療費を請求するための「診療報酬明細」（通称レセプト）を毎月作成して、医療費を請求します。

本チラシでは、医療費事例を紹介します。

（データ提供：株式会社セールス手帖社保険FPS研究所）

※この事例は、当該傷病で想定される具体的な症状や治療・経過を記載しています（実際の事例ではありません）。また、金額は、2013年（平成25年）8月現在の診療報酬、公的医療保険制度に基づき算出しています。

※医療機関の基準については、看護体制の整った都心部の急性期医療機関を想定して作成しています。

事例

卵巣がん（再発予防のため、術後抗がん剤治療を実施）で、5年経過（48歳 女性）

事例の具体的な経緯、症状、治療内容（概要）

6か月程前から腹部の張りを感じ、下腹部が出てきたのも気になり、念のため婦人科を受診した。超音波検査などから、卵巣がんの可能性が高いことがわかり、総合病院に検査入院、その後、卵巣・卵管・子宮・リンパ節を摘出する手術を受けた。がん細胞は腹水に及んでおり、再発を予防するため抗がん剤治療が必要となった。翌月より、5日間の入院による抗がん剤治療（1か月に1回）と抗がん剤治療後の外来による検査を6回繰り返した。抗がん剤による副作用（嘔吐や白血球の減少）も克服し、その後は定期的に通院。超音波、CTなどの検査で術後の管理を行った。5年後の経過は順調だが、今後も1年毎の定期検診を受けていく予定である。



支払総額
（一般）

831,833円

（上位所得者の場合1,009,413円）

支払総額の明細は裏面をご覧ください。

※食事自己負担額、室料（差額ベッド）を含みます。食事自己負担額、室料（差額ベッド）以外にも、入院時寝具料・衣料代、交通費（家族分も含む）などの雑費が必要となる場合があります。



●事例における医療費の内訳と自己負担、高額療養費、その他費用

支払総額
(一般)

831,833円

(上位所得者の場合1,009,413円)

5

1 医療費	入院1月目	術後1月目【入院】抗がん剤治療①【外来】検査	術後2月目【入院】抗がん剤治療②【外来】検査	術後3月目【入院】抗がん剤治療③【外来】検査	術後4月目【入院】抗がん剤治療④【外来】検査	術後5月目【入院】抗がん剤治療⑤【外来】検査	術後6月目【入院】抗がん剤治療⑥【外来】検査	術後7月目～術後5年目	合 計
入院日数	24日	5日	5日	5日	5日	5日	5日	0日	54日
通院日数	0日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	計26日	32日
初診料 (円)	2,700	0	0	0	0	0	0	0	2,700
再診料 (円)	0	700	700	700	700	700	700	14,000	18,200
医学管理料 (円)	13,350	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	80,000	140,150
投薬料 (円)	41,200	20,600	20,600	20,600	20,600	20,600	20,600	0	164,800
注射料 (円)	263,400	131,700	131,700	131,700	131,700	131,700	131,700	0	1,053,600
処置料 (円)	6,500	0	0	0	0	0	0	0	6,500
手術料 (円)	728,800	0	0	0	0	0	0	0	728,800
検査料 (円)	22,380	25,400	32,800	32,800	32,800	32,800	32,800	255,600	467,380
画像診断料 (円)	19,300	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800	113,000	149,100
リハビリテーション料 (円)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院料 (円)	531,660	90,050	90,050	90,050	90,050	90,050	90,050	0	1,071,960
医療費合計 (円)	1,629,290	279,050	286,450	286,450	286,450	286,450	286,450	462,600	3,803,190
2 A 3割自己負担額 (円)	488,790	83,710	85,930	85,930	85,930	85,930	85,930	138,700	1,140,850

3 高額療養費	入院1月目	術後1月目(入院)	術後2月目(入院) (外来分は限度額を超えず)	術後3月目(入院) (外来分は限度額を超えず)	術後4月目(入院) (外来分は限度額を超えず)	術後5月目(入院) (外来分は限度額を超えず)	術後6月目(入院) (外来分は限度額を超えず)	術後7月目～術後5年目	合 計
自己負担限度額(一般) (円)	93,723	限度額を超えず	80,120	80,120	44,400	44,400	44,400	限度額を超えた月なし	—
B 高額療養費 (円)	395,067	0	570	570	36,290	36,290	36,290	0	505,077

4 その他の費用	入院1月目	術後1月目(入院)	術後2月目(入院)	術後3月目(入院)	術後4月目(入院)	術後5月目(入院)	術後6月目(入院)	術後7月目～術後5年目	合 計
入院時食事自己負担額 (円)	15,340	3,120	3,120	3,120	3,120	3,120	3,120	0	34,060
室料(差額ベッド) (円)	72,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	0	162,000
C 小 計 (円)	87,340	18,120	18,120	18,120	18,120	18,120	18,120	0	196,060

支払総額(一般)	入院1月目	術後1月目【入院】抗がん剤治療①【外来】検査	術後2月目【入院】抗がん剤治療②【外来】検査	術後3月目【入院】抗がん剤治療③【外来】検査	術後4月目【入院】抗がん剤治療④【外来】検査	術後5月目【入院】抗がん剤治療⑤【外来】検査	術後6月目【入院】抗がん剤治療⑥【外来】検査	術後7月目～術後5年目	合 計
自己負担総額 A - B + C (円)	181,063	101,830	103,480	103,480	67,760	67,760	67,760	138,700	831,833

※食事自己負担額:1食260円×食事回数131回で計算。

※室料(差額ベッド):この事例では、1日3,000円として計算。(室料(差額ベッド)は病院や室により異なります。かからない場合もあります。)

※事例の内容(治療内容・治療経過等)は、表面をご覧ください。
※「その他の費用」として表示している食事自己負担額、室料(差額ベッド)以外にも 入院時寝具料・衣料代、交通費(家族分も含む)などの雑費が必要となる場合があります。

事例の読み方

1 医療費の内訳と3割自己負担額

レセプトに応じた医療費の明細と3割自己負担額です。

2 医療費の自己負担額総額

所得により異なります。本チラシでは一般所得者と上位所得者(標準報酬月額53万円以上)のケースを記載しています。収入に応じて自己負担の金額が異なりますので注意してください。

3 高額療養費〈70歳未満の場合〉

以下の算式・手順で求められます。(概要)

- a) 自己負担限度額の算出
一般所得者: 80,100円 + (医療費合計 - 267,000円) × 1%
上位所得者(標準報酬月額53万円以上): 150,000円 + (医療費合計 - 500,000円) × 1%
b) 高額療養費の算出
(自己負担額) - (高額療養費の自己負担限度額)

4 その他の費用

医療費以外にかかった費用について食事自己負担額、室料(差額ベッド)を表示しています。食事自己負担額、室料(差額ベッド)以外にもその他雑費が必要となる場合があります。

5 当該事例における最終的な自己負担の総額

本チラシは、株式会社セールス手帖社保険FPS研究所よりデータ提供を受け、作成したものです。公的医療保険制度については、各公的医療保険の窓口にお問い合わせください。

●取扱者／代理店

●引受保険会社

東京海上日動あんしん生命保険株式会社